

# 特別支援教育 あどばいすタイム



## 不登校児童生徒等に対する ポジティブな登校支援 ～小学校高学年児童の事例～



徳島県立総合教育センター  
特別支援・相談課

# ポジティブな登校支援とは？

- ・ 登園しぶりや登校しぶりが見られた段階や、不登校歴が長くなる前の子どもに対して有効。
- ・ 主に、小学校段階の子どもが対象。
- ・ 子どもが学校へ行きたくなる、学校へ行ったら得をする仕組みを作る。
- ・ 不登校の子どもの生活習慣を整え、登校を促す。
- ・ 子どもの状況に合わせ、学校や家庭での過ごし方を考え、子どもの同意の下で登校に導く。

# ポジティブな登校支援とは？

- ・ 不登校の子どもに対する支援方法の1つ。  
→いじめや学校でのトラブル等が原因の場合は、  
別のアプローチが必要
- ・ 令和5年度までは「積極的登校支援」  
令和6年度より「ポジティブな登校支援」  
→呼び方が変わっただけで、支援の方法は同じ

## 児童の実態

- ・ 小学5年生
- ・ 登校を促すと「死にたい」など発言があり、毎朝本人が登校の有無や時間を決めていた。
- ・ 小4: 6月の運動会を欠席してから登校しぶり。それ以降、朝になると腹痛や下痢を訴えるようになる。  
習い事のサッカーもやめる。  
6月→ほぼ欠席。7月→5限だけ。9月→ほぼ欠席。  
10月以降→6限のみの登校が続く。
- ・ 小5: 4月に**担任から「ポジティブな登校支援」の情報提供**を受ける。  
欠席した日は、母親がゲーム機を持ち出す、学校と同じ時間割で過ごすなど、家庭で独自に実践。  
5月上旬より、給食～6限まで参加できる日が増えてきた。

保護者は、周りから「もっと子どもに寄り添うように」「しっかり休ませて」と言われる度に、自分の考えとは違い、しんどい思いをしていた。

# 支援の流れ

5月：母と初めての面談

## ①「覚悟」の確認

支援の方向性について説明し、共通理解をはかる。

## ②生態学的アセスメントの実施

(1週間の過ごし方を母が記録)

5月：③学校へ行きたくなるてんびん作り

生態学的アセスメントをもとに、支援の手続きを考える。

(④チャレンジ表、⑤契約書、⑥学校を休んだ日のルール)

5月末～1月：⑦ポジティブな登校支援を実践

定期的に母と相談し、手続きの修正や目標のステップアップをはかる。

# ①「覚悟」の確認



- ・母と総合教育センター特別支援・相談課担当で「覚悟」について確認
- ・暴力と拒否のある子どもは「自律」できないことを共有
- ・登校させたいという確固たる思いがあるか
- ・主導権は必ず保護者が持つ
- ・保護者、支援者全員で一枚岩になる  
→全員が一貫した方法で取り組む

## ②生態学的アセスメント

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
AM 5		就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
6		起床 6:30	7:10	起床 7:00	起床 7:00	起床 7:00	起床 7:00
7		朝食 タブレット ゲーム 母が仕事へ	朝食 タブレット				
8		ゲーム タブレット ゲーム 母が仕事へ	ゲーム タブレット				
9		ゲーム タブレット ゲーム 母が仕事へ	ゲーム タブレット				
10		ゲーム タブレット ゲーム 母が仕事へ	ゲーム タブレット				
11		ゲーム タブレット ゲーム 母が仕事へ	ゲーム タブレット				
PM 12	音読	登校	登校	登校	登校	登校	登校
1	音読	登校	登校	登校	登校	登校	登校
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
AM 0							
1							
2							
3							
4							

1週間の過ごし方を母が記録

(小5の5/13～5/19)

黄色：ゲーム、タブレット、TVなど

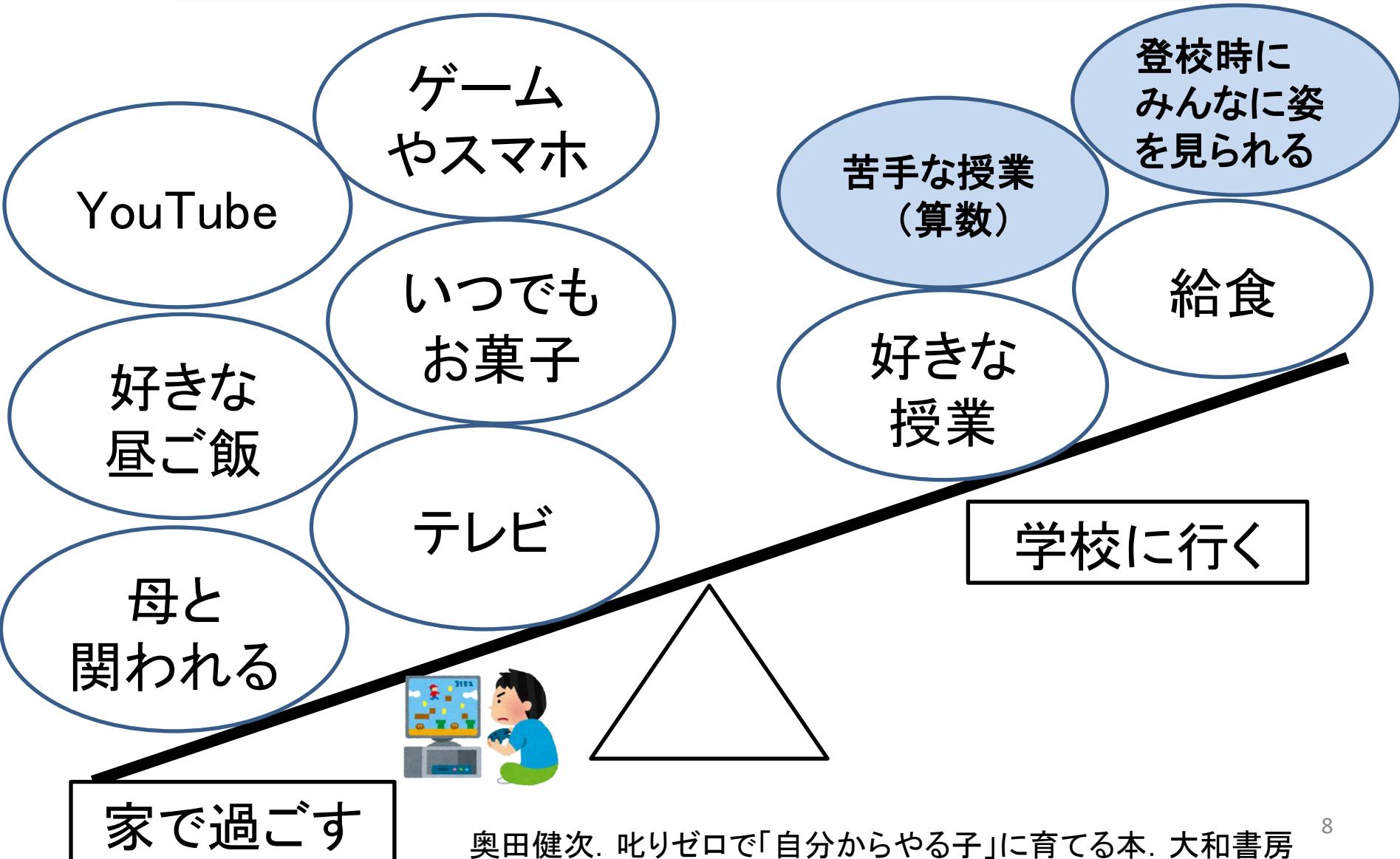
水色：登校

現状

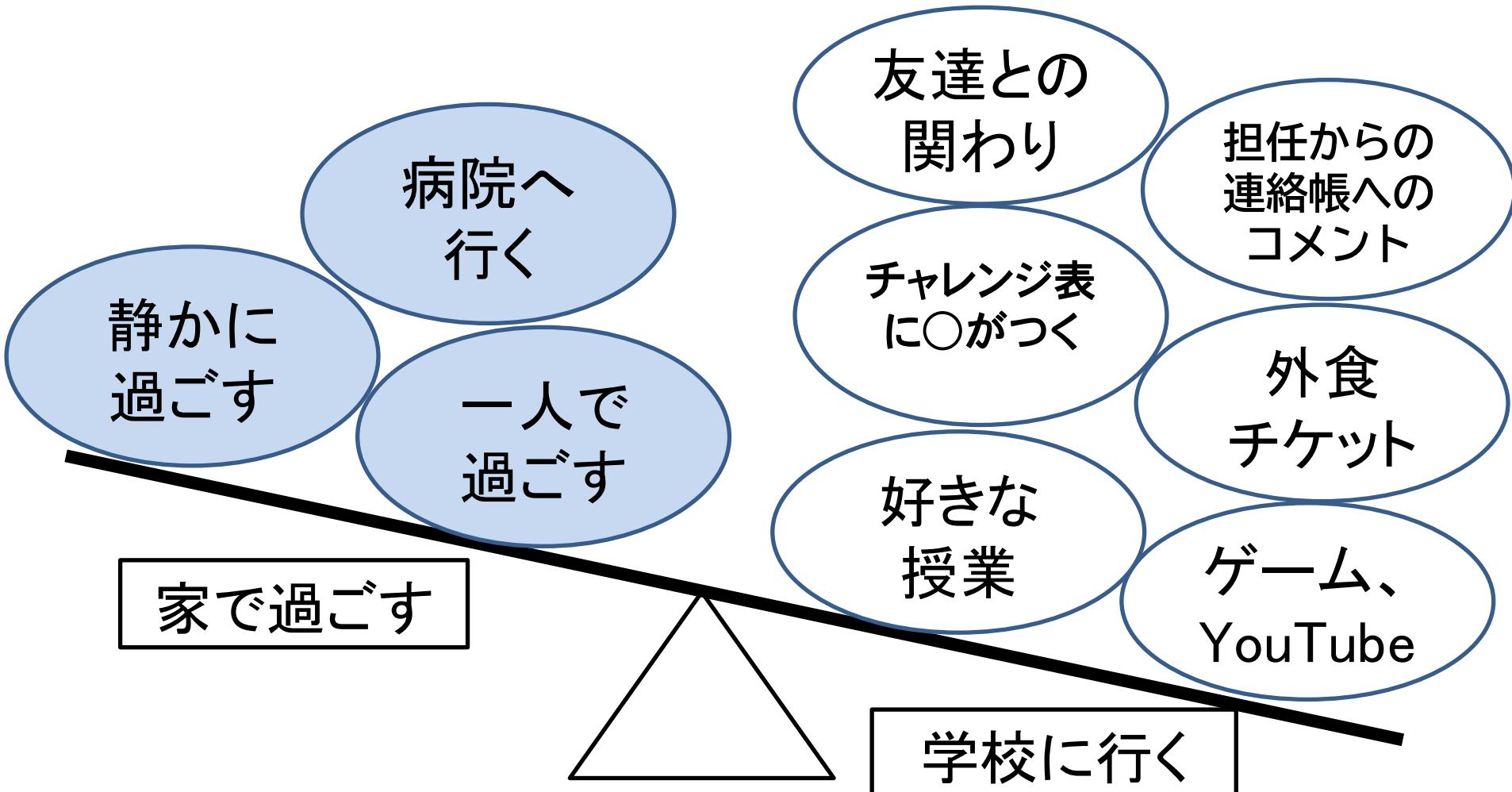


- 朝からタブレットでYouTubeを見ている。
- 毎日登校しているが、好きな時間に学校へ行っている。
- 登校したら下校まで過ごせる。
- 毎日夕方に友達とオンラインでゲームをしている。
- 毎日平均4時間、ゲームとYouTubeで余暇を過ごしている。

### ③学校へ行きたくなるてんびん作り ～不登校時のてんびん～



### ③学校へ行きたくなるてんびん作り ～学校へ登校できるようになつた時のてんびん～



# ④チャレンジ表の作成

## ～ルール・手続き・「お楽しみ」の可視化～

### 行動契約法・スマールステップ法・トークンエコノミーシステム

#### 【ルール】

- ・チャレンジ目標1つクリア → **50 円**
- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → **貯金**

- ・チャレンジができたかどうかは、父母がチェックします！
- ・お楽しみは、父母からもらえます☆

#### ☆交換☆

いつでもお父さんと スポーツ	好きな コンビニスイーツ券	晩ご飯 リクエスト券
100円	300円	100円

チャレンジ目標	5/27	5/28	5/29
月	月	火	水
朝ご飯の食器を流し に持って行く			
お風呂の時、脱いだ 服をかごに入れる			
合計			
5日間の合計金額			
残った金額			

当たり前にできる行動から、  
徐々に登校に関する行動へと  
ステップアップ！(エラーレス)

1週間で貯まったお金で、  
週末にお楽しみをGET！

# ☆チャレンジのルール (本人説明用)

一人前として、向き合って  
特別感を演出！

## 【目標】

☆「お楽しみチャレンジ」をクリアしよう！

## 【ルール】

- お父さん、お母さんは、「やりなさい」とは言いません。  
やるかどうかは、〇〇さんが決めます。
- できたときだけ 「お金」が、もらえます。  
できなかつたら 「お金」は、もらえません。
- 「お金」がたまつたら、好きなものと交換  
できます。



# ⑤契約書

## けいやく書

### 【目標】

☆チャレンジをクリアしよう！

### 【やくそく】

- ・お父さん、お母さんは、☆チャレンジのルールを守ることをちかいいます。

父

---

母

---

- ・わたしは、「お楽しみチャレンジ」のルールを守ることをちかいいます。

名前

---

# ⑥学校を休んだ日のルール

## 学校を休んだ時 の ○○家のルール

### 【ルール】

- 学校を休む時は、体の調子が悪いときです。
- 学校を休んだ時、お父さんやお母さんは 「だいじょうぶかな」と心配しています。
- これからは、**学校を休んだら、病院へ行って、**  
悪いところはないか、お医者さんにみてもらいます。  
そして、学校へ行けないくらいしんどい時は、家で  
しづかに すごします。元気になるまで、ゆっくりねます。
- だから、**学校を休んだ日は、ゲーム・YouTube・TVは、**  
お休みです。
- **買い物のや公園など、外へも行きません。**
- 病院の先生に「1日ねていなさい」といわれた時や、  
ねつが「37.5度」以上ある時は、元気になるまで、ゆっくりねます。



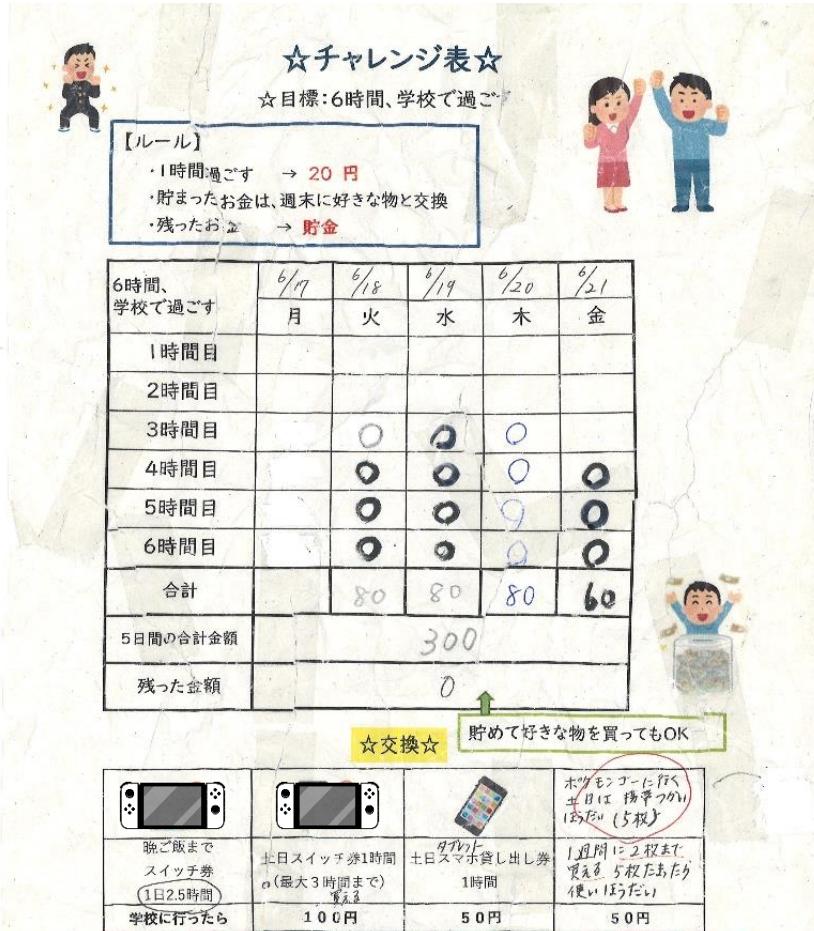
- しんどい、つかれているだけ → お休みできない  
家ぞくの用事の時 → お休み

- もし、元気なのに学校へ行けない時は、  
学校がおわる時間まで、家でも勉強します。



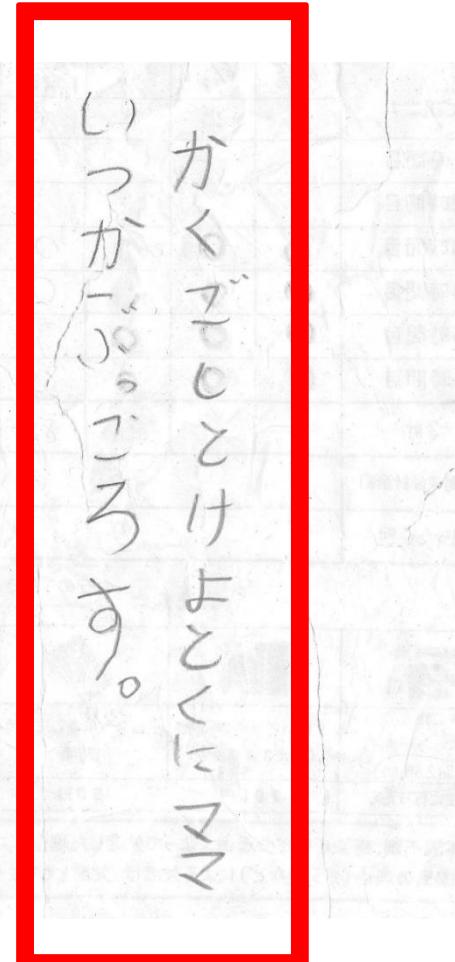
# 行動契約時のエピソード

## くしゃくしゃにした 「チャレンジ表」と「直筆抗議文」



(奥田2016)

両親は、これまでと  
違い本人の要望に  
動じず、毅然とした  
態度で応じた。



# ⑦登校支援 ステップ1「お手伝い」

## 5/27～6/7

### ☆チャレンジ表☆

☆チャレンジをクリアして、お金をゲットしよう

#### 【ルール】

- ・チャレンジ目標1つクリア → 50 円
- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → 貯金

チャレンジ目標	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11
	月	火	水	木	金
朝食後、自分の食器を運ぶ	○	○	○	○	○
お風呂に入る時、服をバケツに入れる	○	○	○	○	○
合計	100	100	100	100	100
5日間の合計金額	500				
残った金額	500				
貯めて好きな物を買ってもOK					

### ☆交換☆

100円 100円 100円	100円 100円 300円	100円 100円 300円

### ＜手立て＞

- ・現在できている目標を設定。
- ①朝食後、自分の食器を運ぶ
- ②お風呂に入る時、服をバケツに入れる

### →チャレンジ表の練習

チャレンジを成功させ、お楽しみをもらうことで、チャレンジ表をなくてはならないものにする。

### ＜結果＞

- ・2週連続毎日○が付く！
- ・お楽しみとの交換はせず、貯金した。

# ⑦登校支援

# ステップ2「6時間学校で過ごす」

6/18～9/6

## ☆チャレンジ表☆

☆目標:6時間、学校で過ごす



### 【ルール】

- ・1時間過ごす → 20 円
- ・貯まつたお金は、週末に好きな物と交換
- ・残つたお金 → 貯金

6時間、学校で過ごす	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5
月					
1時間目					
2時間目					
3時間目	○	○	○	○	○
4時間目	○	○	○	○	○
5時間目	○	○	○	○	○
6時間目	○	○	○	○	○
合計	80	80	80	80	80
5日間の合計金額	400				
残った金額					

### ☆交換☆

貯めて好きな物を買ってもOK

平日スイッチ券 1日3時間 (欠席したら無効) 200円	土日スイッチかタブレットか スマホ券 1時間 (最大4時間まで) 100円×2	ポケモンGO土日イベント参加券 送迎+スマホ無制限(2枚まで) 50円	おこづかい (貯金)	円

・発熱、体調不調、感染症などの理由によって欠席した場合も欠席となります。(無給)

・休校や家庭の理由(忌引きなど)による欠席は、欠席となりません。(有給)

## <手立て>

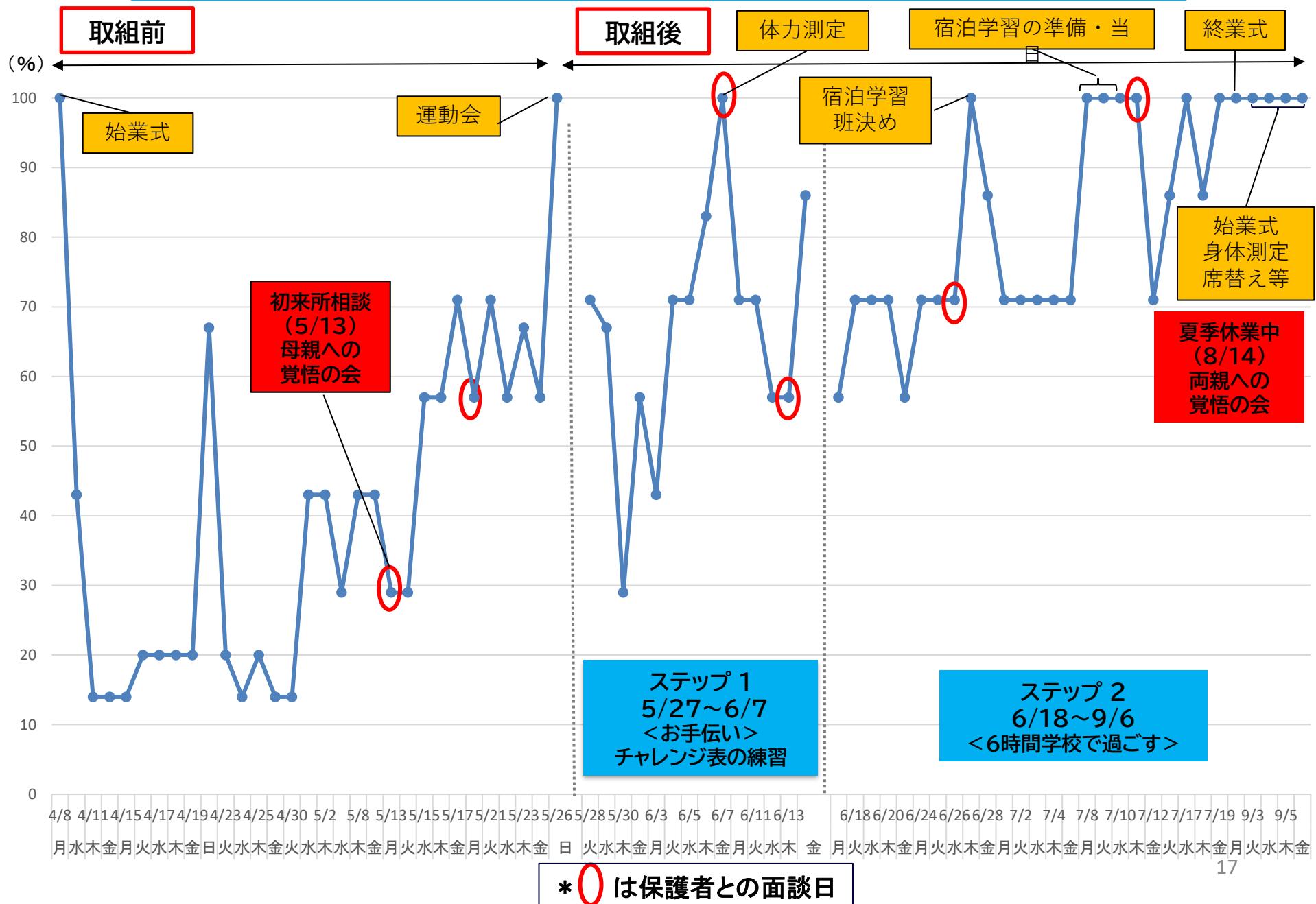
- ・契約書を交わす。
- ・お楽しみを「より好きなもの」に変更
  - 平日ゲーム券(3時間)
  - 土日ゲームかタブレットかスマホ  
(1時間×購入時間) \*最大4時間まで
  - ポケモンGOイベント参加券  
(5枚で参加可能)

## <結果>

- ・毎日、3時間目から6時間目まで過ごせた。
- ・1時間目から登校できる時があるが、行事(運動会、身体測定等)の時のみ。
- ・ゲーム券は必ず購入している。
- ・余裕があれば、ポケモンGOイベント参加券を購入している。

(奥田2016)

# 学校参加率(出席時数/全時数×100) ステップ1～ステップ2



\* 0 は保護者との面談日



## ① 両親への覚悟の再確認(7/23)

→本児に関わる全員が一枚岩になり、一貫性のある支援をすることが重要  
お父さんにもセンター職員から直接覚悟の確認を行い、これまで以上に協力をお願いする  
(これまででは母親経由で情報共有)



夏期休業中に両親で来所



## ② 「レート」の変更(8/30)

→現在は、がんばった分だけ得するシステムではない。  
行動を引き出すプランへ変更していく。

分量はほぼ一緒だが、レートを変更することでやる気  
にさせる。

→例)ANAのマイレージ改定  
(特典交換に必要なマイル数のアップ)  
一見改悪だが・・

- ちょっとがんばれば手が届くと思われるか
- ✗ それならやめてしまおうと思われるか

## ② 「レート」 の 変更



6時間、 学校で過ごす	月	火
1時間目(20円)		
2時間目(20円)		
3時間目(20円)		
4時間目(20円)		
5時間目(20円)		
6時間目(20円)		
合計		
5日間の合計金額		
残った金額		

一律20円

6時間、 学校で過ごす	月	火
1時間目(50円)		
2時間目(40円)		
3時間目(10円)		
4時間目(10円)		
5時間目(10円)		
6時間目(10円)		
合計		
5日間の合計金額		
残った金額		

1・2時間目に価値



### ③ 「コンボ」 の 設定(8/30)

→行事の時は1限までに登校できることはあるが、継続しない。

1限から連続登校で得をするシステムにする。

→例)スーパーマリオ

連続で敵(ノコノコ)を倒すとスコアがうなぎ登り

200→400→800→1000→2000→4000→8000→1UP

### ③ 「コンボ」 の 設定



→2日連続2限からの登校を1コンボとし、1週間で最高4コンボできるように設定

(1コンボ+5円、2コンボ+15円、  
3コンボ+40円、4コンボ+100円)

金曜日の集計日にコンボの金額をプラスし合計金額を出す。

コンボ (2限からの登校が連続)	①	②	③	①コンボ	5円		
6時間、 学校で過ごす	月	火	水	木	金	②コンボ	15円
1時間目(50円)	○	○			③コンボ	40円	
2時間目(40円)	○	○	○	○	④コンボ	100円	
3時間目(10円)	○	○	○	○	○		
4時間目(10円)	○	○	○	○	○		
5時間目(10円)	○	○	○	○	○		
6時間目(10円)	○	○	○	○	○		
合計	80	130	130	80	40	コンボ	40
5日間の合計金額	500						
残った金額							



# ⑦登校支援 ステップ3「6時間学校で過ごす」

## 9/9～1/31



### ★チャレンジ表★

☆目標:6時間、学校で過ごす

#### 【ルール】

- ・貯まったお金は、週末に好きな物と交換
- ・残ったお金 → 貯金

#### コンボ

1・2限までの登校が連続する

コンボ数	①	②	③	④	①コンボ	5円
6時間、学校で過ごす	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	②コンボ 15円
月	火	水	木	金	③コンボ 40円	④コンボ 100円
1時間目(50円)	○	○	○	○		
2時間目(40円)	○	○	○	○		
3時間目(10円)	○	○	○	○		
4時間目(10円)	○	○	○	○		
5時間目(10円)	○	○	○	○		
6時間目(10円)	○	○	○	○		
合計	130	130	130	130	130	+ 100
5日間の合計金額	750					
残った金額	50					

#### ☆交換☆ 貯めて好きな物を買ってもOK

月・火 スイッチ券 1日3時間	水・木・金 スイッチ券 1日3時間	土日スイッチかタブ レットがスマホ券 1時間 (最大4時間まで)	2枚で行くよ 5枚	外食チケット (1枚まで) *好きな店を選ぶ	ポケモンGO土日イベン ト参加券 送迎+スマホ 無制限(最大2枚まで)	おこづかい (貯金)
100円	100円	100円	100円	50円	円	

・発熱、体調不調、感染症などの理由によって欠席した場合も欠席となります。(無給)

・休校や家庭の理由(急引きなど)による欠席は、欠席となりません。(有給)

## ＜手立て＞

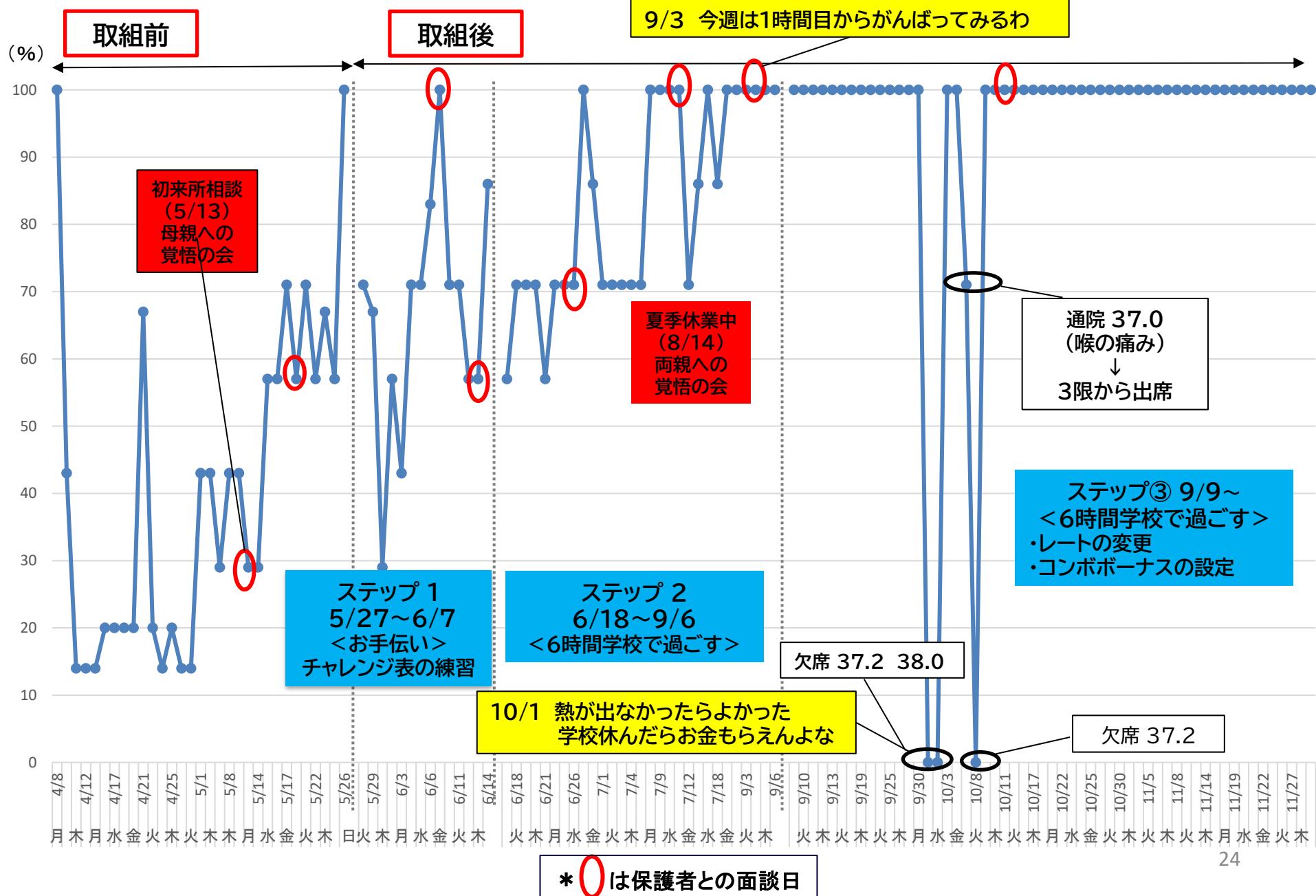
- ・登校したらより得するシステムに
  - レートの変更
  - コンボの設定
- ・お楽しみの変更
  - 外食チケット追加  
(枚数に応じたお店で食事)
  - 平日ゲーム券を月・火と水・木・金

## ＜結果＞

- ・欠席 3日(発熱3日)  
ゲームなしで寝て過ごす  
「熱が出なかつたらよかったです」  
「学校休んだら、お金もらえんのよな」
- ・喉が痛いと感じる日があったが…  
「学校を休もうかなって思うのをやめるよ  
うにした」

(奥田2016)

## 学校参加率(出席時数/全時数×100) ステップ1～ステップ3



# おわりに



## 【お子さんの変化】

- ・準備を自分でするようになり、登校時間が更に早く。
- ・学校近くの駐車場から、歩いて登校できるように。

## 【お子さんの発言: 1月下旬頃】

- ・「オレ、学校行くの楽しくなってきた！！」  
→こんなことを言ったのは初めて。
- ・「ママたちが、学校に行ってほしいってがんばったんじゃない？」
- ・「もう学校に行かんってことはないんじゃない」
- ・「勉強は嫌やけど、学校楽しくなってきた！」
- ・「休み時間に遊ぶのが楽しい」
- ・「今のクラスが最高にいい！！」

自分から豈園・豈校する子どもになってほしいと願う  
保護者・支援者のみなさまへ



# ポジティブな登校支援 (園・学校へ行きたくなる) “しあわせ”作り

子どもにとって いいこと 嬉なことを表しています。



この“しあげ”作用を「ポジティブな登校支援」と呼んでいます。

ポジティブな登校支援は、不登校の子どもの生活習慣を整え、学校を好す支援方法です。子どもの状況に合わせ、学校や家庭での過ごし方をえ、子どもの発達の下で登校に導きます。詳しくはお問い合わせください。

### ポジティブな學校支援の要は保護者・支援者の「覚悟」!!

- 保護者・支援者に「学校と協力して登園・登校させたい!」という願望たる想いがある。
  - 登園・登校したくないという子どもに、冷静な態度で接することができる。
  - 休んだ日に、保護者・支援者が家庭で見守ることができる。
  - 保護者・支援者全員が共通理解した上で、一枚岩になり一貫した方法で取り組む。
  - 子どもが成長するまでは保護者・支援者が先導する。



### 【問題】の上、 振り図ることで

こんな状況のお子さんが  
登園・登校できるようになります！



## 「過去の問題より」

- ✓ 登園しづらいがある子
  - ✓ 週報して給食から登校している子
  - ✓ 保護者に言わしづらい学校へ行っている子
  - ✓ きょうだいで休んでいる子
  - ✓ 朝空登校や保健室登校をしている子
  - ✓ 朝になると体調不良を訴える子
  - ✓ 学校を休んで家で好きなことをしている子
  - ✓ 不登校の原因が買当たらない子
  - ✓ 春に自分の要求が無視されてきた子



## ポジティブな登校支援のチラシを公開しています。ご活用ください。

- ① 園・学校を休んだ時間に何をしているか、1週間ほど細かく記録する。
  - ② 記録をもとに、学校へ行きたくなる“しあげ”を作る。
  - ③ “しあげ”にもとづいて、支援を行い、目標に対する記録をとる。
  - ④ 記録をもとに、“しあげ”を再考しながら、支援を継続する。

## ポジティブな登校支援を含む不登校の 対応範囲はこれらまで



徳島県立総合教育センター  
特別支援・相談課 教育相談担当  
【受付時間】平日9:00~17:00  
TEL 088-672-5200  
E-mail [tokuubetsushien@mit.tokushima-ec.ed.jp](mailto:tokuubetsushien@mit.tokushima-ec.ed.jp)

不登校のサポートに  
囲むる色画事業は  
一歩を出でる

卷之二

卷之三

ラノベサボーラ

実際に行動するところの内  
部の問題を扱うのが本研究の特徴  
である。行動をとる個体の内  
部の問題を扱うのが本研究の特徴



佐伯団体総合教育センター 特別支援・相談室

1772-0109 © 2010 The Authors. Journal compilation © 2010 Association for Child and Adolescent Mental Health.